

福島第一原子力発電所の事故後、原子力発電に対して不安をお持ちの方は多いと思います。中部電力はくらしに欠かせないエネルギーを安定的にお届けするという責務を持つ会社として、皆さまに「エネルギーのこと、そして浜岡原子力発電所の今」をお伝えしたいと考えています。「ミラエネだより」では、なるべくわかりやすく紹介することで少しでも多くの方にお伝えできればと思っています。



各設備の対策は?

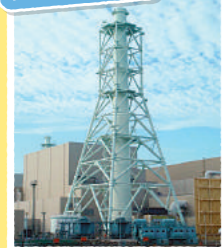
耐震性の

向上に取り組んでいます

東日本大震災発生前から耐震性を高めるために、建物内の配管や排気筒を支える設備を追加・補強しました。

震災後にもさらなる補強工事を行っています。

排気筒改造工事



[工事後]



[工事前]

配管・電路類サポート改造工事



[工事前]



[工事後]

建物の構造は?

ピラミッドのような安定した構造

原子炉建屋は、地震の揺れに強い構造にするため、上部よりも基礎の面積を広く、厚くし、重心を下げ、厚い壁を規則正しく配置しています。

とても安定!

上よりも下が重いと揺れにくいカモ

バランスが良い建物とし、固い岩盤に直接建てています。

なるほど、家具の固定と同じことカモ



浜岡原子力発電所の地震対策はどうなってるの?

前は地震に強い家のお話でしたが、発電所の地震対策も気になりますよね。そこで今号は、浜岡原子力発電所の地震対策をご紹介します。



私がお案内します

浜岡原子力発電所
保修部 改良工事G
永島 清成

建物が建つ地盤は?

より固い岩盤に直接設置しています

地面を約20m掘り下げて、固い岩盤に原子力発電所の心臓部である原子炉建屋を直接設置しています。固い岩盤での揺れは、表層地盤に比べ、1/2から1/3程度と軽減されます。

一般の建物



基礎を岩盤に設置していない場合

大きく揺れる

原子炉建屋のイメージ



表層地盤の下の岩盤部分に、頑丈な基礎が広がっています。

見えているところだけじゃなく、地下にはこんな基礎が広がっています。



表層地盤

固い岩盤

かもじろうの発見!

構造も岩盤への設置も大きな地震に備えたものなんだね

中部電力の対策
の発生に備えて、浜岡原子力発電所の耐震性のさらなる向上に取り組んでいます。



震源